

一九九一年九月三日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・5・6・8の日)発行 発行人 関西障害者定期刊行物協会・大阪市天王寺区真田山町二丁目 東興ビル4F



KSKQ 萌風香 2023年度夏号

誰もが生き活きと
自分らしく暮らせる
心豊かな社会を
創造します。

社会福祉法人萌 広報紙 NO.81 2023.7.23 編集人 社会福祉法人萌 定価 150円
〒630-0256 奈良県生駒市本町7-14 ブルームビル2階 ひだまり内 TEL 0743-85-4196

夏の法人職員全体会を実施 ～私たちができる地域貢献を学ぶ機会に～

職員のスキルアップと法人職員としての意思統一を図ることを目的とした全体会を2023年7月1日(土)に奈良産業会館で4年ぶりに対面方式で開催しました。

まず吉川理事長から、「地域のニーズに応えられる社会福祉法人に発展していくこと」「スキルアップすることで、関わってきた地域の人たちに貢献し、明日からの実践にどう活かすかを考えながら、研修を受けてほしい」という話がありました



明日からの実践のヒントに

新任者研修の報告では、研修を通じて学んだ4つのポイント(利用者との関わり・組織内の連携・自己覚知・法人職員として)について、意見や今後の目標についての発表がありました。

基礎研修(入職2年目)では、「研修での学び・気づき」について発表があり、前期は、事例検討、後期は、文献研修を通して、実践の振り返りの中で、自分自身と向き合う学びの報告がありました。

管理職研修の発表では、スーパービジョン(SV)を用いた研修を通して、専門援助職としての管理職のスキルアップによる法人組織の強化や専門援助職としての成長、人材育成などを目的とし、3年間のSV実施におけるアンケート結果の報告がありました。今年度から継続的にSVの導入を行います。

基調講演は空閑浩人教授(同志社大学社会学部社会福祉学科)から『社会福祉法人とその職員に求められるソーシャルワークを考える～「一人」を大切にする支援と「一人」が大切にされる地域づくりに向けた「希望」の営み～』をテーマに。

『ソーシャルワークは、そこにいる「一人」を大切にする支援の営みであり、そこで暮らす「一人」が大切にされる関係づくりや場づくり、地域づくりのための営みである』



空閑 浩人 アニメやドラマの話題を交えて

そして、「人と社会の新しい価値観の創造」につながる思考と実践である。

「いま・ここで」の当事者・利用者との、出会いとのかかわりとの時間を大切にすること、法人や施設、また職員の存在が、利用者や家族、地域の人々の「大丈夫」となり、一人を大切にする支援と一人が大切にされる地域を「ともに」築いていくことが大切。

そして、職員が「元気」で活動する姿や笑顔こそが、人々や地域にとって安全で安心できる、何よりの支援であり地域づくり、すなわち「ソーシャルワーク」だと。

今回の基調講演をはじめ、夏の全体会は、法人の理念や日々の実践の振り返りにもつながり、職員の明日からまた、元気に、頑張っていこうという原動力となる貴重な有意義な日となりました。

四徒然

社会福祉法人萌
理事長 吉川郁子

奈良のちの電話協会定期総会で、神澤創さん(いこまカウンセリングルームこころ代表)の講演「若者の自殺を考える」を聞きました。

日本の自殺死亡率は先進国(G7)において一位。また2019年までは減少傾向にあった自殺者数はその後増え、特に女性・若年層の増加は深刻であるとのことでした。

学校では「信頼できる大人」に SOS を出せるようにする教育が進んでいます。一人で抱えているつらいこと、苦しいことを言葉に出してみてもいい。家族や友達のほかにも、あなたの話を聴こうとする人や相談機関はたくさんあります。

いのちの電話や精神保健福祉センターの電話相談、ラインやフェイスブックといったSNS相談など相談の方法も様々です。ぜひのぞいてみてください。

生駒エリア

生活支援センターコスモールいこま	0743-73-7000	地域活動支援センターコスモールいこま	0743-73-0900
ひだまり	0743-85-4196	コミュニティスペースはなな	0743-73-1050
グループホーム楽都	0743-73-0141		

人権擁護委員向けに講演

～藤尾さんとの出会いを通じ～

生駒市人権擁護委員向けに、地域活動支援センターコスモールいこま職員と利用者が「精神障害者の生活支援について」をテーマに話をしました。

参加者からは「精神病院での不当な入院や虐待について、電話等での訴え先はあるのか」「精神疾患に罹る人が増えているのはなぜか」などの質問もありました。

この研修の提案者は、生駒市人権擁護委員の藤尾庸子さんです。

藤尾さんは、約30年前、生駒初の精神障害者が集える「ひだまり共同作業所」立ち上げ時から関わりのある、心強いお母ちゃん的存在です。



生駒市健康づくり推進員連絡協議会会長も長く務め、作業所時代からボランティアでの昼食作りや、楽しい料理教室を開き、新年会ではぜんざいをふるまっ

自称48歳!そう思うと、元気が出るそうです

業所時代からボランティアでの昼食作りや、楽しい料理教室を開き、新年会ではぜんざいをふるまっ

くれました。現在も、毎年人権擁護啓発タオルを持参しての啓発や、エリアのイベント時に相談ブースを開いてくれています。このような日ごろのお付き合いは、大きな心の支えになっています。

藤尾さんは教育実習時に、障害のある生徒がトンボの羽の図柄を書く才能に驚いたことをきっかけに、その後、県のボランティア養成講座を受講。最後の講義で「地域であなたを待っている人がいる」と言われ、ボランティアとして無認可ひだまり共同作業所へ行くことになりました。

普通の感覚で利用者に「どこに住んでんの？」など話していたら、ある日職員から「藤尾さんが来ると、次の日3人欠席するからあまり来ないで」と言われたこともありました。

しかし利用者から「警察から不審者扱いされた」ときけば、警察に「いい子たちやから見守ってあげて」とお願いに行ったりもしました。「リサイクルショップを提案したのも私。何も悪いことしてないんやから、カーテン閉めた薄暗い場所でなく、前に出て堂々と生きたらいい、と背中を押した」。

当事者にも「ステージに立って、堂々と表現したらいいねん」と30年前から言い続け、「それが今、普通になってきたのがうれしい」と話します。

「関わってみて、周囲がその人を守ろうと困ってかばいすぎ、力を奪っていると感じた。専門職や家族だけでなく、私のような、わけのわからん地域の人をまきこみながら、そうなんや!と気づいてもらうことが大事。地域の人も、手を差し伸べたいけど何をしたらいいかわからず、ももんとしている。地域も捨てたもんじゃないよ」。

「どんな状態になっても、みんな地域で普通に生きていけばいい。ずっと関わらせてもらっていることで、私も育てられ、元気をもらっています」と藤尾さん。いえいえ、パワーをもらっているのは、私たちのほうです。心からの感謝と共に、これからも地域の皆さんとの出会いを大切に、活動を続けます。

今回は、生駒本町自治会長、吉川章さんのインタビュー記事を掲載します。お楽しみに♪

相談 地域の皆さんからの人権に関する相談に市しています。

啓発 人権の大切さを多くの方々に知っていただき、また、考えていただくために、様々な活動を行っています。

救済 「人権を侵害された」という被害者からの申告などを受理し、法務省職員と協力して、救済処理に当たります。人権相談から救済手続を開始する場合もあります。

啓発 子どもの花運動、人権教室、全県中学生人権作文コンテスト、街頭啓発・啓発イベント

救済の流れ 被害者の救済の流れ: 法務省の人権擁護機関(相談) → 届出事実の有無を判断 → 救済のための措置(いじめや被害者に対する支援) → アフターケア(結果通知)

地元企業や施設での啓発 企業や社会福祉施設等において、講師として、人権啓発の重要性を伝えています。

街頭啓発・啓発イベント 各地域で様々な啓発活動を行っています。

人権イメージキャラクターが紹介するパンフレット

郡 山 エ リ ア			
生活支援センターふらっと	0743-54-8112	地域活動支援センターふらっと	0743-54-3977
ふれあい工房	0743-54-6701	彩食キッチンBon	0743-58-5572
グループホームもえぎ館	0743-85-4112		

障害者福祉の発信基地

大和郡山市役所に福祉ショップ開店

百壽橋(しゃくじゅばし)商店みりおーの(以降百壽橋商店)が7月18日、大和郡山市役所交流棟1階にオープンしました。



できたてほやほや!市民の交流の場みりおーの

百壽橋商店は大和郡山市地域自立支援協議会の就労部会から①福祉施設の販売活動の促進②福祉施設の利用者の工賃の向上③市民との交流を通じた啓発活動④利用者の生きがいと社会参加の促進を目的として設置されました。市長との懇談、障害福祉課、庁舎建設室と何度も検討を重ね、実現したものです。

名前の由来は、郡山城の中堀に架かる橋の名前が「百寿橋」。「みりおーの(miliono)」は、エスペラント語で「百万」を意味する言葉。この二つが名前の由来となっています。

障害者就労の現場から生まれた数々の作品(品物)が持つ百万の華やかさと魅力を体現する店舗名として、百の寿(ことぶき)が大きく百万のしあわせに育ち広がるよう願いが込められています。

運営は、新たに設立した「大和郡山市障害者福祉ショップ連絡会」が担い、スタート時は市内11障害者団体が店番や商品の納入を行います。

連絡会事務局を担当する一般社団法人eightの藤本貴久さんは「市民の皆さまが毎日立ち寄りたくなるお店作り、障害のある人の働く姿やこだわりの商品に触れていただくことがお店のコンセプト。また、多くの障害者団体が協力して店舗運営に関わるこの取組みは、市内の障害福祉の底上げにも

つながる。ご来店お待ちしております」と話します。

今後、障害者アート展や職場体験の機会、啓発イベントなど大和郡山市の障害者福祉の発信基地として、いろいろな企画を検討中です。

「百壽橋商店みりおーの」
 営業日 市役所開庁日(平日)
 営業時間 10時から15時
 所在地 大和郡山市北郡山町
 248-4



MILIONO100

笑いがあふれて健康に!

こころの健康講座 2023

ハートフルこおりやま(大和郡山市精神障害者の社会参加をすすめる会)が主催する、こころの健康講座が6月24日(土)に行われました。

ハートフル会員だけでなく4歳から80代まで幅広い世代の観客が参加し、「笑い与健康」と題した大道芸と講演会の企画を楽しみました。

講師のたつきゆうさんこと田久朋寛氏は大道芸人と健康生きがいづくりアドバイザーとして全国各地で活動をしています。

ジャグリングやカラーコーンを使った様々な芸を次々披露され、どよめく歓声や拍手で会場は一体化し、笑い声に包まれていました。

「笑いには、免疫の活性化・ストレス解消・人間関係をよくするなどの効果がある」「笑いを増やすためには、特別なことをするのではなく“ほんの少しの楽しい時間を大切にすること”」とお話にもユーモアを交えて。



やさしい空気に包まれながら

現在、ハートフルこおりやまは、秋に行く「はーとふるフェスタ(社会福祉法人萌と共催。旧・はーとふる市)」の準備中です。ぜひ一緒に、「笑いながら」楽しく、実行委員会に参加しませんか?

西和エリア

生活支援センターぼと・ベル 0745-43-5541 地域活動支援センターまーぶる 0745-75-6545
らそら 0745-70-1577 グループホーム彩友館 0745-43-9333

「また一緒にお祭りしたいですね」 ～斑鳩町民生・児童委員が施設見学に～

今年度就任の斑鳩町民生・児童委員（以下、民生委員さん）の約30人が6月中6日間に分かれて、らそら、まーぶる、ぼと・ベルの施設見学に来られました。

この見学会は、地域の障害者福祉施設の現状を知ることが目的で、斑鳩町内にある他の施設見学もされています。

新型コロナウイルスが流行する前には、今回のような施設見学が定期的であり、西和ふれあい祭り（西和エリア主催で斑鳩町内にて、飲食店の出店や地域にある様々な団体のステージなどを実施したお祭り）にボランティアとしてご協力していただいたこともありました。

当時から私たちを知ってくれている方も当日はおられ、「また昔みたいにお祭りしたいですね」と言ってくださり、とても嬉しい気持ちになりました。



らそらについて説明中。

施設見学では、スタッフから施設の役割や日頃の活動について説明をしました。施設利用者の数名にも協力してもらい、利用してみてもの感想を話してもらいました。

「失敗したなと思った時、次どうしたらいいかをスタッフが一緒に考えてくれる」「ここがあるから安心できるし、1日の生活リズムが整う」「お弁当の配達（らそらの作業）もあって、地域の人とつながれているな～という気持ちになる」などコメントがありました。

民生委員さんからは「利用者さんの年齢層は?」「コロナの影響はありましたか?」などたくさん質問がありました。



まーぶるについて説明中。

見学会終了後、民生委員さんと利用者の方々で話をする場面では、「近所にはあるけれど、どんな活動をしているかは知らなかったので、今日聞いて良かった」という声が聞かれました。

この見学で、私たちがここでどのようなことを大切にしながら活動をしているのかを知ってもらえる機会になり、今後も地域の皆さんとのつながりづくりを大事にしていきたいです。

物価高騰の影響がまーぶるにも…!

5月某日、ミーティングの議題は「購買部について」。まーぶるでは、利用者数名とスタッフで、ジュースやカップラーメンを買いに行き、それをサロン内で販売する「購買部」があります。売り上げはクリスマス会などのイベント参加費の補助金にするなど、利用者の皆さんへ還元しています。

昨今の物価高騰もあり、利用者からは購買部の継続を心配する声も挙がっていました。そんな中、とある利用者から、いつものスーパーで缶ジュースの値段が上がっていた!という情報が。

早速ミーティングで話し合いました。購買部も値上げをするのか、値上げするならいくらにするのか、など悩んだ末、缶ジュース1本10円の値上げをすることに決まりました。

まーぶるの購買部は、利用者の皆さん中心の運営です。みんなの購買部として、これからも活動していきます。



補充完了!充実してますよ～!

社会福祉法人萌 2022年度決算報告資料

法人単位 資金収支計算書 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	就労支援事業収入	88,024,000	90,892,063	▲ 2,868,063
	障害福祉サービス等事業収入	567,420,000	574,885,685	▲ 7,465,685
	事業収入	19,354,000	22,240,569	▲ 2,886,569
	寄附金収入	847,000	557,353	289,647
	受取利息配当金収入	45,000	31,041	13,959
	雑収入	2,453,000	3,974,902	▲ 1,521,902
	事業活動収入計(1)	678,143,000	692,581,613	▲ 14,438,613
	人件費支出	474,676,000	474,151,860	524,140
	事業費支出	44,771,000	44,839,062	▲ 68,062
	事務費支出	31,051,000	31,376,138	▲ 325,138
	就労支援事業支出	81,821,000	87,023,469	▲ 5,202,469
支払利息支出	110,000	110,503	▲ 503	
事業活動支出計(2)	632,429,000	637,501,032	▲ 5,072,032	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	45,714,000	55,080,581	▲ 9,366,581	
施設整備等に よる収支	施設設備等収入	0	0	0
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
	設備資金借入金元金償還支出	7,795,000	7,795,000	0
	固定資産取得支出	1,614,000	2,206,283	▲ 592,283
	施設整備等支出計(5)	9,409,000	10,001,283	▲ 592,283
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲ 9,409,000	▲ 10,001,283	592,283	
その他の活動による収支	その他の活動による収入	0	0	0
	その他の活動収入計(7)	0	0	0
	積立資産支出	20,000,000	20,000,000	0
	その他の活動支出計(8)	20,000,000	20,000,000	0
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲ 20,000,000	▲ 20,000,000	0
予備費支出(10)	3,000,000		3,000,000	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	13,305,000	25,079,298	▲ 11,774,298	
前期末支払資金残高(12)	198,427,000	198,431,192	▲ 4,192	
当期末支払資金残高(11)+(12)	211,732,000	223,510,490	▲ 11,778,490	

法人単位 事業活動計算書 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	就労支援事業収益	90,892,063	85,273,889	5,618,174
	障害福祉サービス等事業収益	574,885,685	565,581,235	9,304,450
	事業収益	22,240,569	20,441,139	1,799,430
	寄附金収益	557,353	692,000	▲ 134,647
	雑収益	4,041,945	1,935,212	2,106,733
	サービス活動収益計(1)	692,617,615	673,923,475	18,694,140
	人件費	474,151,860	468,841,960	5,309,900
	事業費	44,839,062	42,113,143	2,725,919
	事務費	31,376,138	36,506,072	▲ 5,129,934
	就労支援事業費用	87,023,469	81,377,217	5,646,252
	減価償却費	23,678,568	26,491,853	▲ 2,813,285
国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 7,580,639	▲ 8,227,079	646,440	
サービス活動費用計(2)	653,488,458	647,103,166	6,385,292	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	39,129,157	26,820,309	12,308,848	
増減の外部 サービス活	受取利息配当金収益	31,041	45,142	▲ 14,101
	サービス活動外収益計(4)	31,041	45,142	▲ 14,101
	支払利息	110,503	173,264	▲ 62,761
	サービス活動外費用計(5)	110,503	173,264	▲ 62,761
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	▲ 79,462	▲ 128,122	48,660
経常増減差額(7)=(3)+(6)	39,049,695	26,692,187	12,357,508	
特別増減の部	固定資産売却益	0	19,999	▲ 19,999
	特別収益計(8)	0	19,999	▲ 19,999
	固定資産除却損	0	486,157	▲ 486,157
	国庫補助金等特別積立金取崩額(除却等)	0	▲ 105,383	105,383
	特別費用計(9)	0	380,774	▲ 380,774
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	▲ 360,775	360,775	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	39,049,695	26,331,412	12,718,283	
増減の繰越部 差活動額	前期繰越活動増減差額(12)	508,913,412	500,649,043	8,264,369
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	547,963,107	526,980,455	20,982,652
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	20,000,000	18,000,000	2,000,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	527,963,107	508,980,455	18,982,652	

法人単位 貸借対照表 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：円)

勘定科目	資 産 の 部			負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	289,195,122	241,311,790	47,883,332	流動負債	71,664,632	50,675,598	20,989,034
現金預金	161,744,681	119,606,732	42,137,949	買掛金	864,772	1,063,153	▲ 198,381
売掛金	1,852,661	1,964,288	▲ 111,627	未払金	49,942,599	28,528,612	21,413,987
未収金国保連	69,765,432	64,932,384	4,833,048	1年以内返済予定			
未収金利用者	622,024	345,948	276,076	施設整備資金借入金	5,980,000	7,795,000	▲ 1,815,000
未収金その他	2,721,448	2,274,982	446,466	預り金所得税	1,016,293	1,034,937	▲ 18,644
未収補助金	47,534,575	48,112,652	▲ 578,077	預り金住民税	1,029,700	905,800	123,900
貯蔵品	1,843,303	1,918,620	▲ 75,317	預り金社会保険	11,902,175	10,776,556	1,125,619
立替金	34,486	40,019	▲ 5,533	預り金雇用保険	883,013	571,540	311,473
前払金	3,026,512	2,066,165	960,347	仮受金	46,080	0	46,080
出資金	50,000	50,000	0	固定負債	10,300,000	16,280,000	▲ 5,980,000
固定資産	672,597,018	674,069,303	▲ 1,472,285	設備資金借入金	10,300,000	16,280,000	▲ 5,980,000
基本資産	407,611,503	421,283,674	▲ 13,672,171	負債の部合計	81,964,632	66,955,598	15,009,034
土地	171,379,216	171,379,216	0	純 資 産 の 部			
建物	236,232,287	249,904,458	▲ 13,672,171	基本金	34,289,196	34,289,196	0
その他の固定資産	264,985,515	252,785,629	12,199,886	第1号基本金	31,739,196	31,739,196	0
構築物	34,847,476	41,442,745	▲ 6,595,269	第2号基本金	2,550,000	2,550,000	0
車輦運搬具	1,278,291	2,830,295	▲ 1,552,004	国庫補助金等特別積立金	95,788,905	103,369,544	▲ 7,580,639
器具及び備品	5,802,350	5,455,191	347,159	国庫補助金等特別積立金	95,788,905	103,369,544	▲ 7,580,639
権利	1,271,098	1,271,098	0	その他の積立金	221,786,300	201,786,300	20,000,000
建物減価償却積立預金	143,000,000	131,000,000	12,000,000	建物減価償却積立金	143,000,000	131,000,000	12,000,000
施設・設備整備積立預金	60,786,300	57,786,300	3,000,000	施設・設備整備積立金	60,786,300	57,786,300	3,000,000
災害時等運営資金				災害時等運営資金積立金	18,000,000	13,000,000	5,000,000
積立金積立預金	18,000,000	13,000,000	5,000,000	次期繰越活動増減差額	527,963,107	508,980,455	18,982,652
				(うち当期活動増減差額)	39,049,695	26,331,412	12,718,283
資産の部合計	961,792,140	915,381,093	46,411,047	純資産の部合計	879,827,508	848,425,495	31,402,013
				負債及び純資産の部合計	961,792,140	915,381,093	46,411,047

高田エリア			
生活支援センターなっつ	0745-23-7214	地域活動支援センターなっつ	0745-23-8105
マインドホーム高田	0745-23-8072	おかわり	0745-23-5625
えいぶる	0745-52-5752	あっとほーむ香芝	0745-44-8023

地域に根差した学内売店、準備中!

高田エリアでは、2023年7月に畿央大学(所在地、広陵町)内にある売店をオープンします。現在行われている準備の様子をお伝えします(記事の内容は準備中の時のものであり、変更になる場合があります)。

畿央大学では3年ほど前に大学内の売店が撤退、その売店跡地の活用について大学側から社会福祉法人萌に出店の話がありました。

高田エリアでは、大和高田市にある高

田温泉さくら荘の清掃業務や商店街の中にあるカフェの運営など以前から地域との繋がりを大切に活動してきました。

今回もその歴史を大切にしながら、畿央大学の学生の皆さんに喜んでもらえる売店を運営しようと決めました。

営業時間は毎週木・金曜日の14時から16時。唐揚げやカップ麺の販売を利用者が担当する予定で、売店の名前は学生からの公募で決まります。

鎌田剛吏高田エリア部長は「ここ数年で新型コロナウイルスの影響で外(地域)に向けての活動を自粛していました。畿央大学の売店運営を始めることで、高田エリアの地域に巻き込まれる実践、つまりは地域の人たちと一緒に町を作っていく活動の再スタートになればと考えています」と話します。

教育機関にも活動範囲が広がった高田エリア。これからも地域や教育現場との繋がりを大切に活動を続けていきます。



オープンのお知らせのチラシ

活動の幅が増えました!

新型コロナウイルスが2類から5類に変更になり、地域活動支援センターなっつ(以下、なっつ)ではコロナ禍前の様子に戻りつつあります。

新型コロナウイルスの影響で、なっつはえいぶるの1階に移り、活動のほとんどが制限された状態でした。なっつに戻ってからも、レクリエーションは飲食を伴わないもので、昼食会も調理をせずにテイクアウトのみで行なってきました。



久々の昼食会で調理♪

行きたい場所や食べたい物を話しますが、「コロナやからアカンか」と制限中はあきらめムードの中過ごしてきました。

制限が解除されたら「みんなでご飯作りたいな」、「行ってみたい店がある」等やりたいこと、行きたい場所を日々サロンの中で話し合ってきました。



レクで海鮮丼を堪能

今年の1月には一部制限が解除され、感染対策は行ないつつ、レクリエーションでの飲食や昼食会も調理が可能となりました。レクリエーションを決める際には動画サイトでの予習は欠かせません。

情報をたくさん仕入れていることで、あれも、これもとついつい目移りして、決めるのに時間がかかりました。そんな時間も制限がなくなったから出来ること。悩むことも楽しいです。

久々の調理では、意見を出し合いながら何を作るかを決めていき、テーマは簡単でしっかり食べられるもの。野菜の寄付をしてくれる方もいました。

昼食会では制限がとれても、引き続きテイクアウトも選べるようにしています。コロナ禍前に全部戻すのではなく、良いなと思えたことは残していくことで活動の幅が広がり楽しみ方が増えました。

檀原 エ リ ア			
生活支援センターぴあぼ〜と	0744-24-2020	地域活動支援センターぴあぼ〜と	0744-24-2070
生活支援センターいろは	0744-32-7753	ひなた舎	0744-32-7745
Pit八木	0744-21-5666	グループホーム南	0744-24-2050

楽しくボッチャ体験！ ～想像以上に奥深かった～

ぴあぼ〜との利用者さんから「ボッチャ体験がしたいなー!」という声が上がリ、ぴあぼ〜と、Pit八木の合同で、曾我川緑地体育館でボッチャ体験をしました!



気持ちを整え全集中!

ヨーロッパで生まれたボッチャは、重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。シンプルだけど、奥の深い、運動が苦手な人にもできるスポーツです。

今回は、檀原市スポーツ推進課の方1人、推進委員5人から、ボッチャのルールについて、丁寧に説明をしてもらい、とりあえず実践してみよう!とゲームスタート。

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青チームに分かれ、それぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。なかなか、力の具合が難しく、つい力んでしまうと、思わぬ方向や、遠くへ飛んで行くので、一喜一憂する声が体育館に響いています。ドキドキわくわくしながら、必死で考えて、投げる時の表情は真剣そのもの。

繰り返すうちに、戦略性の技術が必要なことも分かり、ボッチャの魅力に引き込まれていきました。

体験中は、自然と、推進委員の方や利用者同士のコミュニケーションも弾み、あっという間に1時間が経ち、少し物足りなく思う人も・・・。

終了後に、推進委員の方から、「他にもたくさん気軽に楽しめるスポーツがあり、ぜひ教えますので次回も呼んでください!」と声をかけてもらいました。

ボッチャで、いい汗を流した爽快な気持ちを忘れないうちに、企画を検討したいと思います♪



充実感いっぱいスマイル☆

Let`s アジサイ鑑賞♪ ～心も身体もリフレッシュ～

檀の木ハウスは、6月20日(火)に大和郡山市の矢田寺へアジサイを見に行きました。ホームページなどでアジサイの写真を見て、楽しみに現地へ向かいました。

いざ到着すると、アジサイの前にはなんと217段もの階段が。平均年齢53歳の檀の木ハウス一同、決して体力に自信があるわけではありません。「うわー」



きれいなアジサイに心癒されます♪

「こんなにも階段があるなんて・・・」。曇天の空に合わせたかのように全員の顔も曇ります。

それでも、せっかくここまで来たのだからと懸命に階段を上りました。「はあ、はあ、はあ」と息が切れ、Tシャツも汗びっしょり。なんとか本殿へ到着すると、青、白、紫と色とりどりのアジサイが目の前に広がります。「想像していたよりもきれいですねえ」

「しんどかったけど、来てよかったです」ときれいなアジサイと大和平野の景色に癒されたひと時でした。

2022年度 決算報告

2023年6月24日に開催しました評議員会にて2022年度決算が承認されました。

2022年度は収益、費用ともに法人設立以降過去最高の数字となりました。前年度(2021年度)と比べると経営状況は良くなり、コロナの影響から回復傾向にあります。(別添「社会福祉法人萌2022年度決算報告資料」をご参照ください。)

●物価高騰の中、収益は増加

物価高騰、電気料金値上げの影響を受け、水道光熱費は前年度より150万円ほど増加しています。

また、就労支援事業収益が増えた分、材料購入などの費用も増加し、就労支援事業費用は前年度より570万円ほど増えました。

収益では、前年度と比べ障害福祉サービス事業収益が930万円増加、就労支援事業収益が560万円増加となり、サービス活動収益計は前年度と比べ、1870万円増えました。

新型コロナウイルスの感染対策・行動自粛の緩和もあり、サービス利用者数、イベントなど出店の機会、飲食店などの客数が増加しました。障害福祉サービスで新たに「ベースアップ支援等加算」を算定したことも収益の増加につながっています。また、奈良県より新型コロナウイルス関連の補助金を、物価高騰等支援金として、奈良県、生駒市、大和郡山市からそれぞれ受けることができました。

●事業(支援)の継続・発展に向けて

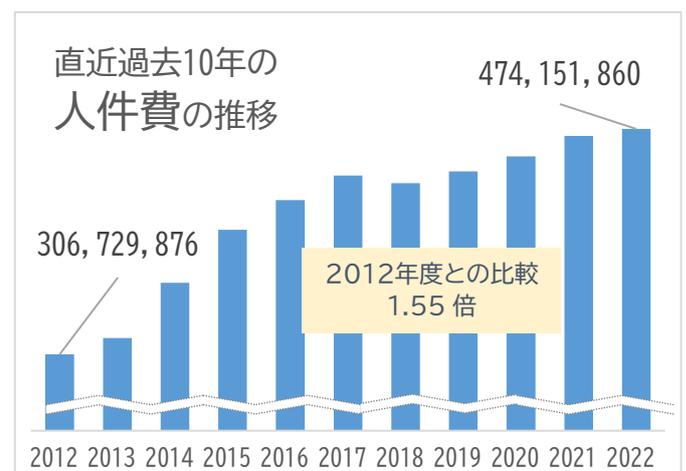
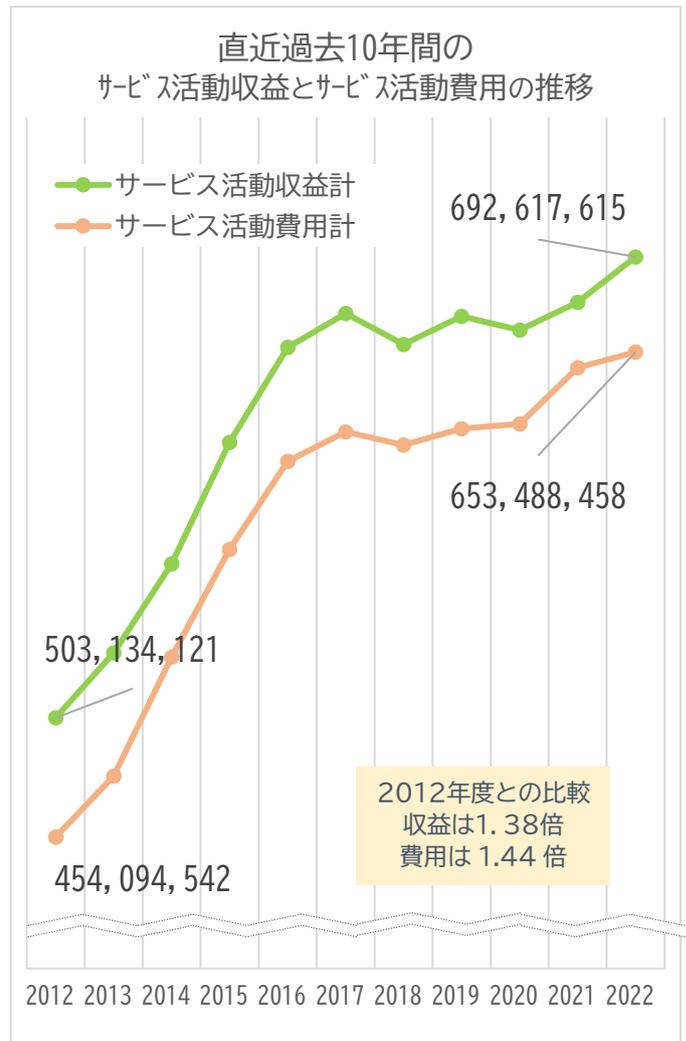
法人が設立して20年以上となり、建物や設備、機器などの老朽化や経年劣化による不具合が増えてきています。

2022年度中にはパソコン、エアコン、冷蔵庫、車の買い替えを複数しており、今後さらに増加する見込みです。

また一部の建物の老朽化が進んでおり、雨漏りなどの修繕や建て替えの検討をしていく必要が出てきています。2022年度も固定資産の更新のため積立金1500万円を積立し、直近の建て替えにかかる費用は確保できています。

支援を継続していくためには人材が必要です。萌では数年前から職員の賃金改善を進めており、2022年度は『ベースアップ支援等加算』による賃金改善を行いました。今後も人材確保、人材定着のため賃金改善を進めていきますが、支援をしていく環境(建物や設備など)もおそろかにできません。

支援・事業を継続、発展していくためには人、モノが必要です。物価高騰等の中ではありますが、経費削減できるところを見極め、新たに収益を増やす手立てを考えていく必要があります。



(総務部 出口裕生)

さくらんぼ便り

ホームヘルプステーションさくらんぼ
0743-54-0800

ライク通信

なら西和障害者就業・生活支援センターライク
0743-85-7702

ヘルパー全体会

2023年6月28日郡山柳地下会議室でヘルパー全体会を開催しヘルパー14人が参加しました。

さくらんぼでは、質の良い支援のため業務マニュアルを作成。制度等の変化に合わせて改訂しています。

今回の会議では、個人情報漏洩しないこと、約束の時間を守ること、言葉使いに気をつけること等基本的なことから、利用者に寄り添うためにはどのような関わりが良いか、なぜそうする必要のあるかについての詳細な説明を追加したマニュアルを共有しました。

また、業務の効率化を図って、訪問介護記録票の見直しも行いました。出席者からは、支援についての悩みや関わり方についての話しや「自分たちの業務内容の再確認できた。利用者の力を奪わない支援を心がけていきたい」という声が上がリ、情報共有ができる支援のあり方の共通認識を持つ場となりました。



★萌風香の購読★

萌風香は年4回発行です。皆様のお手元に届いた後、萌のサービス利用者以外の方で「引越して住所が変わった(住所変更)」「次からは送ってもらわなくても結構です(購読中止)」という場合、お手数ですが必ず萌風香編集部ひだまり(0743-85-4196)までご一報くださいますようよろしくお願いします。

▽萌 後援会からのご案内

萌後援会は「社会福祉法人萌」の活動を支援していただける皆様を募集しております。

主な目的は法人事業の支援や寄付を行っています。

会費の納入及び寄付の受付口座は郵便振替 社会福祉法人萌後援会
00920-4-221824

後援会事務局(萌総務部内)
0743-54-0821(大東)

▽ハートフルこおりやま 精神障害者の社会参加をすすめる会

「障がいのあるなしに関わらず、誰もが住みやすい街づくり」をすすめる当会では、会の趣旨に賛同頂き、活動に協力して下さる会員さん・ボランティアさんを大募集しています!!年会費は1口 500円(2口からお願いします)です。

連絡先:会事務局 ふらっと内
0743-54-3977(帯田)

▽ひだまりクローバー 生駒精神障がい者後援会

生駒市内で活動する精神疾患精神障害を持つ当事者に対しての「活動支援」と、「市民への啓発」をすすめている市民団体です。発足して28年目を迎えます。

新規会員募集中!
年会費 2000円
連絡先:コミュニティスペースはなな内
0743-73-1050(佐藤)

▽地域家族会の情報

詳しくは、下記の各団体・お問い合わせ先にご確認ください。

詳細は まほろば会(NPO 奈良県精神障害者家族会連合会)

TEL:090-9213-2731 FAX:0742-51-5506 <https://nara-mahorobakai.org/>

名称	月例会	時間	場所	問い合わせ先	電話番号
さくら会 (大和郡山市周辺)	第3日曜日	13:30~	三の丸会館	会長関野	0743-54-6375
ひだまり会 (生駒市周辺)	第3土曜日	13:30~	市民活動推進センター ららポート	会長上村京子	0743-78-0885
西和家族会 (西和7町周辺)	第4土曜日	13:30~	王寺町やわらぎ会館	西村	0745-74-6203
すみれ会 (大和高田市周辺)	第3日曜日	13:30~	大和高田市中央公民館	三島	090-9889-7984
のぞみ会 (橿原市周辺)	第2日曜日	13:30~	県心身障害者 福祉センター	ぴあぼ〜と	0744-24-2020